

2016年度事業報告

(2016年4月～2017年3月)

2016年度は、公益財団法人へ移行後5年目となる。
当該期間内に実施した事業活動は以下の通り。

1. 【外国人留学助成 (KMMFスカラシップ)】

61,614千円

外国人留学生の受け入れに優れた11大学を選考し、各校2名/年の外国人留学生助成を行う

対象校: 2014年度開始の8校 (東北大学、国際大学(IUJ)、筑波大学、東京大学、同志社大学
奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、九州大学)

2016年度追加の3校 (北海道大学、京都大学、立命館大学)

10月11日(火)～28日(金)

・大学巡回訪問

2016年度認定奨学生との面談及びルール説明

国籍: 中国(5名)、ベトナム(4名)、タイ(3名)、インド(3名)、インドネシア(2名)、韓国、シンガポール、
スリランカ、トルコ、エジプト 計22名

担当教官と大学事務局へのご挨拶

2015年度奨学生との交流

11月12日(土)～13日(日)

・KMMFスカラシップ理念研修会実施 @広島

目的: KMMFスタッフ&奨学生同士の交流、懇親

日本文化への理解深耕

参加: 2015&16年度 認定奨学生 29名

内容: 認定式

グループディスカッション

広島平和公園、平和記念資料館、宮島等見学

17年2月18日(土)～19日(日)

17年3月11日(土)～12日(日)

・KMMFスカラシップ エリアミーティング @東京、大阪

個人面談、奨学生交流会

9月5日(月)～6日(火)

・2014年度奨学生(第一期生)終了式 @大阪

理事長懇談会

成果発表と相互質疑応答

2.【日本人留学助成（松下幸之助国際スカラシップ）】

45,415千円

■アジア、アフリカ、ラテンアメリカ地域への留学助成（19年目）

・本年度の認定者：15名（学部生1名、大学院生・教員14名）

東アジア 韓国（1名）、中国（1名）

東南アジア :インドネシア（1名）、フィリピン（1名）

南アジア :インド（1名）、ネパール（1名）

西アジア :トルコ（3名）、レバノン（1名）

アフリカ :エジプト（2名）、エチオピア（1名）、タンザニア（1名）

ラテンアメリカ :ブラジル（1名）

・累計助成者数：212名

（うち助成終了者 174名、留学先：49か国・地域）

9月9日（金） スカラシップ第1次選考委員会（書類審査）
応募者36名から23名選考

9月27日（火） スカラシップ第2次選考委員会（面接審査）
認定候補者18名決定

3月16日（木） 「松下幸之助国際スカラシップ」認定式
（於：リーガロイヤルホテル大阪）
・認定確定者15名に認定証・授与と松下幸之助歴史館訪問

■松下幸之助国際スカラシップフォーラム

10月23日（日） 第12回松下幸之助国際スカラシップフォーラム開催
テーマ『遭遇するフィールドへ』

「成果発表」

松下幸之助国際スカラシップ終了生 4名
（フィリピン、インドネシア、ヨルダン、ボリビア）

- ・参加人数：約100名
- ・共催：フォーラム委員会
（委員長：水口拓寿氏 武蔵大学人文学部教授 2000年度奨学生）
松下幸之助記念財団
- ・後援：外務省

「特別企画」 『留学後の出版とキャリア』

元奨学生・ブックレット出版関係者 計5名による座談会

10月中旬 松下幸之助国際スカラシップ留学終了者、
新規6名のブックレット出版（出版累計：55冊）

3.【研究助成】

29,246千円

■人文・社会科学分野の研究を行う博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の研究者への助成
(28年目)

5月27日(金)～7月8日(金) 書類選考

7月22日(金) 選考委員会 (於:コンベンションルームAP東京丸の内)

応募総数 185件、合格者数 52件、助成件数 50件 ※2名は辞退

	日本人	外国人	合計
応募件数	132 (71%)	53 (29%)	185
助成件数	41 (82%)	9 (18%)	50

※外国人:韓国(3名)、フィリピン、ネパール、インドネシア、ポーランド、アフガニスタン、ベトナム

1989年～2017年

累計助成者数: 1,879件

■松下正治記念学術賞 (出版助成)

応募資格:「松下幸之助国際スカラシップ」終了生、及び「研究助成」受給者

応募者数:6名(スカラシップ奨学生1名、研究助成受給者5名)

6月17日(金) 第1次選考委員会

7月～9月 応募全数を選考委員及び外部査読者にて評価

9月29日(木) 最終選考委員会

選考結果

森 万佑子 氏

日本学術振興会特別研究員

論文テーマ:朝鮮外交の近代

-宗属関係から大韓帝国へ-

3月16日(木) 「松下正治記念学術賞」授賞式

(於:リーガロイヤルホテル大阪)

10月25日 2015年度受賞者 阿部 俊大氏

著書『レコンキスタと国家形成』 出版

- アラゴン連合王国における王権と教会 -

4.【国際交流助成】

7,195千円

■トルコ チャナツカレ・オンセキズ・マルト大学日本語教育学科学生の日本研修を助成(20年目)

・本年度は学生6名が研修に参加(累計助成者数109名)

- 7月 2日～7月 3日 広島市内および宮島見学、チャナツカレ会歓迎会
7月 4日 神戸市内見学
7月 5日～7月 7日 松下幸之助記念財団訪問、理事長懇談会参加
松下幸之助歴史館、パナソニックエコテクノロジー訪問
京都・奈良・姫路各市内見学
7月 8日～7月10日 大阪にてホームステイ、小学校訪問
7月11日～7月12日 名古屋大学 日本事情研修・講義及び学生との交流会
7月13日～7月16日 パナソニックセンター東京訪問
パナソニックチャナツカレOB会
東京都内見学

■ベトナム ハノイ大学日本語学部学生の日本研修を助成(2年目)

・本年度は学生8名が研修に参加(累計助成者数14名)

- 11月 8日 大阪市内見学
11月 9日～11月10日 松下幸之助記念財団訪問、理事長懇談会参加
松下幸之助歴史館、パナソニックエコテクノロジー訪問
奈良市内見学
11月11日 大阪教育大学 交流会
11月12日～11月13日 龍谷大学表敬訪問、京都市内見学
11月14日 國學院大學との交流会
11月15日 パナソニックセンター東京訪問
11月16日 仙台大学訪問
11月17日 東京都内見学

5.【自然と人間との共生のための事業(松下幸之助花の万博記念賞)】

17,832千円

「国際花と緑の博覧会」の基本理念の実現に貢献し、その目的にかなう学術的研究、およびその実践においてすぐれた成果をあげた個人、またはグループを「松下幸之助花の万博記念賞」で顕彰する事業

1) 受賞候補者の推薦依頼 (2016年5月)

推薦人274名に推薦依頼

2) 候補者の推薦締切り (2016年8月)

松下幸之助記念賞	17件	
松下幸之助記念奨励賞	18件	
松下正治記念賞	17件	
選考対象 合計	52件	(※ 昨年度推薦分を含む)

3) 選考委員会 (於:千里阪急ホテル)

第1回	5月30日(月)	推薦人の見直し・確認
	9月1日(火)~10月6日(木)	書類選考
第2回	10月7日(金)	第一次選考
	10月8日(土)~10月19日(水)	最終候補者詳細調査
第3回(最終)	10月20日(木)	最終選考

選考結果は下記の通り。

(敬称略)

松下幸之助記念賞 三位 正洋氏 千葉大学 名誉教授

(300万円) 花卉園芸植物をはじめ多くの有用植物における培養・育種手法の開発に携わり、遺伝子導入による青色 コチョウランや青色ダリアの作出に代表されるようにさまざまな植物の育種や保護において、大きな学術的・社会的貢献をした功績

松下幸之助記念奨励賞 藤井 伸二氏 人間環境大学人間環境学部准教授

(150万円) 豊富な植物知識と精力的な野外調査をもとに、絶滅危惧 植物の分布や生態を明らかにするとともに、日本の野生 植物のレッドリストの作成に参画するなど、植物多様性の保全に大きく貢献した功績

松下正治記念賞 田中 肇氏 フラワーエコロジスト

(200万円) 家業の傍ら、花の形態・生態に関する詳細な観察を積み重ね、受粉様式に関する様々な発見をしたばかりでなく、多くの一般書を上梓し「花生態学」の発展に大きく貢献した功績

4) 贈呈式・講演会 (2017年2月4日)

リーガロイヤルホテル大阪「山楽」の間において開催し、約250名が参加。

* 贈呈式

松下理事長から各受賞者に表彰状、クリスタル楯、目録及び花束を贈呈した。

* 講演会

今回の受賞者3名の方々が講演を行った。

① 三位正洋氏

テーマ:夢の植物をつくる

② 藤井伸二氏

テーマ:標本にこめる想い、こめられた想い

③ 田中 肇氏

テーマ:花の構造と機能を追って

6. 【「自然と人間との共生」理念の普及】

2,516千円

人間が自然を尊び調和しながら生きる社会を実現する理念の普及活動及びその関連事業に対する助成

理念に合致した活動を推進する2つの団体に寄付を実施

①認定NPO法人 アースウォッチ・ジャパン (寄付金額 200万円)

環境問題について実証的な研究活動を行っている研究者の
野外調査の現場に、一般市民を環境ボランティアとして派遣する団体

学校の教員や科学館スタッフがボランティアとして参加される
野外調査を支援

- ・国有種ニホンイシガメの保全
- ・ハヶ岳の森の番人 ヤスデの調査

②認定NPO法人 環境市民 (寄付金額 50万円)

地球規模の環境問題を視野に入れ、地域で実践活動を行っている。
本取り組みでは、生物多様性の理解促進のため、小学生向けの
環境教育教材の作成を支援

理事会・評議員会等の開催

<理事会>

(1)第15回理事会

- ・開催日： 2016年5月18日(水) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 理事総数9名のうち8名、監事総数2名のうち2名が出席 オブザーバー：評議員(8名)
- ・議案： ①第1号議案「2015年度(平成27年度)事業報告案承認」の件
②第2号議案「2015年度(平成27年度)決算案承認」の件
③第3号議案「第9回(定時)評議員会招集」の件
④第4号議案「評議員会へ提出する理事・監事候補者名簿案」の件
⑤第5号議案「評議員会へ提出する評議員候補者名簿案」の件
- ・報告事項 職務執行の状況について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(2)第16回理事会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく理事会の開催

②目的である事項

(議案)

- ・第1号議案「代表理事1名選定の件」
代表理事に松下正幸氏を再任した。
- ・第2号議案「専務理事(業務執行理事兼事務局長)1名選定の件」
専務理事(業務執行理事兼事務局長)に大門成行氏を再任した。

- ・提案書の発送=2016年5月18日
- ・理事会の決議があったものとみなされた日=2016年6月6日

上記議案について、議決権を有する理事の全員から書面により同意の意思表示を得た。
また、監事全員から、書面により異議がないことの意味表示を得た。

(3)第17回理事会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく理事会の開催

②目的である事項

(議案)

- ・第1号議案「保有株式の議決権行使の承認」について

- ・提案書の発送=2016年6月6日
- ・理事会の決議があったものとみなされた日=2016年6月20日

上記議案について、議決権を有する理事の全員から書面により同意の意思表示を得た。
また、監事全員から、書面により異議がないことの意味表示を得た。

(4)第18回理事会

- ・開催日： 2017年3月8日(水) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 理事総数9名のうち8名、監事総数2名のうち2名が出席
- ・議案： ①第1号議案「2017年度(平成29年度)事業計画及び予算」の件
②第2号議案「各種選考委員選任」の件
③第3号議案「諸規程の新設・改定」の件
④第4号議案「第10回評議員会招集」の件
- ・報告事項 ①職務執行の状況について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

<評議員会>

(1)第8回評議員会

- ・開催日: 2016年5月18日(水) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者: 評議員総数11名のうち8名、理事出席8名、監事出席2名
- ・報告事項: 「2016年度(平成28年度)事業計画及び予算」について

(2)第9回評議員会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく評議員会の開催

②目的である事項

- ・第1号議案 「2015年度(平成27年度) 事業報告案承認」の件
- ・第2号議案 「2015年度(平成27年度) 決算案承認」の件
- ・第3号議案 「任期満了に伴う役員(理事9名・監事2名)の選任」の件
- ・第4号議案 「任期満了に伴う評議員(10名)の選任」の件

・提案書の発送=2016年5月18日

・評議員会の決議があったものとみなされた日=2016年6月6日

上記4議案について、議決権を有する評議員の全員から書面により同意の意思表示を得た。

附属明細書

平成28年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。